

令和7年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
・自分の思いや考えを明確にし、文章に書き表すこと。	・自分の思いや考えを整理し、文章に表現する力。	・ひな型を提示し、気持ちや出来事を文章にする練習を繰り返し、書き方の基礎を身に付ける。 ・表現を共有する場として、友達と交流する時間を設けて、友達の考え方から学ぶ機会をつくる。
【国語】 ・助詞「は、を、へ」や促音、拗音、句読点を正しく表記すること。 ・言葉の意味や内容を正確に理解すること。	・言葉のきまりや使い方を理解し、正しく書く力。 ・言葉の意味や使い方に関心をもち、語彙を広げる力。 ・文章の構成を捉え、内容を読み取る力。	・声に出して読む活動を多く取り入れ、耳で聞いた音と書く文字の違いに気付かせる。 ・イラストや実物などを使って視覚的に理解させる。場面の様子や登場人物の気持ちを動作化しながら、読解に必要なイメージ力を育てる。
【算数】 ・問題を読み取って場面を理解し、立式すること。	・何が問われているのかを読み取り、自分の考えを数や式で表す力。	・半具体物、絵、図を用いて場面を把握する。問題文の大切な言葉や数、聞かれていることに線を引いて考え、問題場面を整理させる。
【体育】 ・柔軟性や身体を支持するための筋力を高めること。	・自分の体を知り、主体的に運動に取り組む力。	・様々な運動遊びにおいて、誰もが楽しめる活動を取り入れ、自然と柔軟性や支持力が身に付くようにする。 ・個々の活動だけでなく、ペア・グループ活動を取り入れるなど、運動に親しむ環境をつくる。

令和7年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
・他者の考えを聞き、相手の意図を正しく理解すること。	・教師や友達の話に耳を傾け、考えながら聞き、相手の意図を理解する力。	・話を聞く姿勢や、聞き方を掲示し、日頃から意識できるようにする。 ・ペアや少人数のグループでの話し合いを取り入れ、相手の話を聞く態度を身に付けられるようにする。
【国語】 ・語彙が少なく、文章の内容を正しく読み取ったり、言葉を正しく使って書いたりすること。	・日常生活に必要な言葉の意味や使い方を知り、活用する力。	・さわやかタイムや授業中に、カタカナ、助詞、オノマトペなどに関連するプリントを活用して練習を行う。 ・文章を読む中で、言葉の意味を確かめる。絵と言葉を結び付けながら、文章に書かれている場面を捉えられるようにする。
【算数】 ・かさ、長さ、時刻と時間の関係について、日常生活に生かすことや量の感覚を身に付けること。	・学習内容を生活に生かす力。	・長さやかさについて、実物を用いた学習を通して、量感を身に付けられるようにする。 ・日常生活において、時刻と時間を関連付け、特に時間的な長さを意識できるよう声かけをする。
【体育】 ・自身の体の動かし方にぎこちなさが見られる。 ・姿勢を保持したり、身体を支えたりするための筋力を高めること。	・自分の体の動かし方を知り、主体的に運動に取り組む力。 ・筋力を高め、自身の身体を支持したり、姿勢を保持したりする力。	・運動に親しむ環境づくりをする。 ・体育の学習を中心に、体を支える動きを取り入れる。 ・体のどの部分に力が入っているかを意識するために、1人1台端末を活用し、動画を用いて、体の動かし方を指導する。

令和7年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
・問題文で問われていることに対し、正しい言葉や文章で答えること。	・言葉や文章の書き方について理解し、それらを活用しながら自分で表現する力。	・日頃から国語辞典を使って言葉の意味を調べ、言葉を正しく使えるようにする。 ・文型や文章の例を提示し、そこに当てはめて文章に表すようにする。
・他者と積極的に意見を交流し、多様な考えを取り入れながら自分の考えをよりよくすること。	・他者との考え方や感じ方を比較することでその共通点や相違点に気付く力。	・少人数グループでの考えの交流を行う。交流の際によく見るポイントを伝え、違いに気付かせる。 ・自分の書いた文章や考えについて、2、3人で伝え合いの時間を設け、お互いの感想を聞きよいところを伝え合うことで自信をもつことができるようとする。
【国 語】 ・事実と考えを区別して聞いたり書いたりすること。	・文章や話の中の事実と考えの違いを理解し、整理する力。	・文末表現や指示語、前後の文脈に注目させ、事実と、筆者や話し手の考えとの違いを意識できるようとする。
【算 数】 ・新たな問題の解決に対し、既習の学習内容を活用すること。	・これまでに学習したことを理解した上で定着させること。またそれを適切に活用して新たな問題に対応する力。	・かけ算とわり算の関係について、言葉の式を振り返るなどして既習内容を想起させる。 ・自力解決の場面で、テープ図や線分図などを提示し、活用できるようにする。 ・既習内容を活用した児童の考えを取り上げ、他の児童が再度説明できるようにする。

令和7年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
・自分の考えを文や図など、様々な方法で適切に表現し、他者に伝えること。	・適切に判断しながら、問題を解決するとともに、自分の考えをすくんで表現しようとする力。	・必要に応じて文章の書き出しや話型の資料を提示することで、どのように表現するとよいか見通しをもつことができるようとする。 ・ペアやグループで友達と意見を交流する場を計画的に取り入れ、話し合いを通して自分の考えを深めるとともに、全体の場でも自信をもって発表できるようにする。
・学習したことを日常生活と関係付けて考えること。	・学習内容を日常生活に活用しようとする力。	・身近なところから学習内容に関連した資料や例を提示し、日常生活との関連性を意識付ける。 ・授業や単元の最後に、自分の生活と関連させながら振り返る場を設定する。
・自己の学習を振り返り、粘り強く学習に取り組むこと。	・主体的に学習に取り組み、よりよい考え方を求めようとする態度。	・デジタル教科書やＩＣＴ機器を活用しながら、導入時の教材提示を工夫し、児童の意欲を高める。 ・体育の学習等で、学習カードや形成的授業評価を効果的に活用し、児童の思いや課題を見取り、個々の指導に役立てる。
【国語】【算数】 ・当該学年で身に付けるべき漢字、計算の知識の習熟。	・基本的な読み、書き、計算の力。	・授業中及びさわやかタイム（朝、昼の短時間学習）を活用して漢字、計算の練習に取り組み、習熟を図る。 ・授業と家庭学習を連動させ、児童が効果的に学習に取り組むことができるようとする。

令和7年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
・友達の意見や考えを聞いて、自分の考えと比較したり、自分の考えを発表したりすること。	・他者の意見を受け止め、自分の考えと比べながら論理的に表現する力。	・ペアやグループでの意見交換の場を設け、友達の考えを聞き取って要点をメモする活動を通して、他者の考えを受け止める力を養う。 ・共通点や相違点に着目して自分の考えと比較し、全体の場で発表する機会を設ける。
・自ら課題を見付けて学習に取り組むこと。	・学習や活動の中で目的や課題を見出し、主体的に取り組む力。	・授業の始めや終わりに、もっと知りたいことや疑問を児童自身で考える時間を設定する。 ・自分のめあてを考えたり振り返りの中で課題や頑張りたいことを書いたりする時間を取り入れる。
・自己の学習を振り返り丁寧に取り組み理解を深めること。	・課題解決に向けて主体的に学びに向かい、粘り強く考え方抜こうとする力。	・児童が自らの誤りに気付き、原因を振り返って理解を深められるよう、単元やテスト後に振り返りの時間を設け、多面的に考える力を育てる。 ・机間指導でつまずきに応じた声かけやヒントを行い、粘り強く考える姿勢を支援する。
【国語】 ・調べたことをもとに文章を書くこと。 ・相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にして文を作ること。	・調べた情報を理解・分析して取捨選択し、筋道を立てて文章にまとめる力。 ・目的や相手を意識し、情報を整理して伝える文章を作る力。	・調べたことを整理し、構成メモを用いて段階的に文章を書く学習を展開する。 ・書いた文章をグループやペアで読み合い、相手や目的に応じた表現の工夫点や改善点を話し合う活動を取り入れる。
【算数】 ・概数に対応する数の範囲を理解すること。 ・わり算の筆算の習熟。	・概数の意味と使い方を理解し、数の大きさをおおよその大きさで判断できる力。 ・計算の意味を理解し、手順を的確に捉えて、目的に応じて正しく計算できる力。	・桁の変化に応じてまとめたり色分けをしたり、カード等で具体的な操作活動を取り入れる。 ・計算の仕方の手順を動画等を活用して視覚的に示す。 ・単元の終わりや、学期末などの節目に復習問題に取り組む時間を設ける。

令和7年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立松葉小学校

児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
・自分の考えを分かりやすく説明すること。 ・グループで対話的な学び合いを進めること。	・自分の考えを的確に言葉や文章、図、表などで表現する力。 ・他者の意見を取り入れながら、話し合いをしたり、協働的に活動をしたりする力。	・発表モデルを示し、見通しをもたせた上で、全体での発表の機会を充実させる。 ・自分の発表を動画で確認し、自己評価ができるようにふり返りの活動を行う。 ・「司会」「記録」「発表」等の役割を明確にし、全員が責任をもって関わる仕組みを取り入れる。 ・話し合いや協働的な活動で、どのような力を身に付けられるのかを児童と共有できるルーブリックを示し、活動への意欲や質を高める。
【国語】【算数】 ・漢字を書いたり読んだりすることや、立式して正しく計算することなど、基礎的・基本的な知識及び技能の定着。	・該当学年で配当された漢字を読み書きし、文や文章で使う力。 ・整数、小数、分数の計算の概念や方法を理解したり、生活や学習で活用したりする力。	・e-ラーニングやらっこたん等のICTツールを活用し、児童の理解度に応じた反復学習を行う。 ・朝学習の時間を活用して基礎的・基本的な内容についての小テストを実施し、自己評価ができるようにする。
【理科】【社会】 ・自己の課題を明確にしたり、課題解決に向けて考え方を深めたりすること。	・問題や課題を見いだし、論理的に考えて解決する力。	・ペア学習や小集団での学習など、様々な学習形態を取り入れ、話し合いを通して考えを広げたり深めたりする。 ・今日の学びとこれまでの課題を短く記述するリフレクションタイムを設定し、ふり返りによって思考を深める。